

大阪 様子見対応も需要不振で不透明感拭えず

(大阪) 大阪地区の鉄スクラップ市況はなお様子見ムード。アジア向け輸出商談や東日本の上昇を受け、電炉各社、様子見対応を維持しつつも、週内にかけて突発的な荷止めや制限買いの強化も行われ、来週以降は炉休も集中することで、需給面での先行き不透明感はなお根強く残る展開にあるようだ。同地区電炉のH2実勢値は2万5500～2万6000円、新断バラ同2万7500～2万8000円(一部上値2万8500円)、鋼ダライ粉バラ同2万2000～2万2500円(一部上値2万3500円)見当で推移している。

今月入って以降、国際相場が持ち直しへ向かったのに合わせて、関東湾岸価格も反発へ転じ、これを受け、24日から東京製鉄宇都宮工場が4ヶ月半ぶりに買値を引き上げている。東高西低がすすんでいるほか、アジア向け輸出商談においても需要国側は日本のオファーに社して成約に慎重な構えを見せながらも、それでも地

区炉前を上回る価格レベルは受け入れていることで、「このタイミングでの値下げは市中からの反感を招く恐れがある。製品価格からしても、無理に下げ動くほどの局面でもなく、しばらくは様子見が継続するのは」(ヤード業者筋)と見る向きが多い。

一方、今週も全般的に在庫レベルが高く、引きつづき制限買いが行われているが、22～24日にかけて鋼ダライ粉のみ買い止めとしてきた岸和田製鋼が25～27日は全品種荷止めを実施することで、過剰入荷を避けるべく、他も制限強化を打ち出している。週明けからの本格的な炉休入りを前にして荷止め、制限買いが散見され、来週から8月上旬にかけて需給環境はますます悪化へ向かう気配にあるため、「このまま向け先難がつづくことには変わらず、需給環境を踏まえれば、品種問わず、高値調整下げに対する可能性は残っている」(商社)との声が開かれる。

イボキン 大型破碎機をリプレース

(兵庫) 総合リサイクル企業のイボキン(本社=兵庫県たつの市、高橋克実社長)は、このほど本社工場の大型破碎機をリプレースし、先月より本格稼働を開始している。同社は昨年8月にジャスタック市場に上場し、今回は上場後の投資計画の一環。新規機械の導入により、さらなる生産性の向上を目指す。

今回導入したのは近畿工業製500馬力の堅型破碎機で、1日の処理能力は約64ト。従前機よりも処理能力が増強され品質が向上した。またプレシュレッダーを付属しており、大型の処理物はプレシュレッダーで1次破碎後に堅型に投入するなど処理物のサイズによって破碎処理の使い分けが可能。堅型の負担・故障・部品消耗などの軽減も期待される。中国雑品輸入禁止などで増加した雑品などの処理困難物や小型家電等の破碎など幅広く対応している。また同社は解体工事も手広く手掛けており、その際に発生する複合廃棄物なども威力を

発揮する。積極的な処理困難物への対応で、顧客のニーズに合わせ、適切な国内処理・国内循環を目指す。また今後は選別機の追加導入も計画しており、さらなる作業効率化や生産性・コンプライアンス・顧客満足度の向上を強化する考え。



導入した大型破碎機

同社は鉄・非鉄スクラップをはじめ、解体工事・ELV・小型家電・プラスチック・木屑など、解体撤去からリサイクル・廃棄に至るまで全ての工程をワンストップサービスで展開する総合リサイクル企業。多様な資格を持ち、優良産廃処理業者にも認定されている。1999年にはISO14001を取得。事業所は本社工場をはじめ龍野工場(たつの市)、阪神事業所(兵庫県尼崎市)、東京支店(東京都千代田区)など。

本社
京阪神地区を3工場体制で
東初島 網羅! 枚方

松本産業株式会社

環境マネジメントシステム ISO14001認証取得

- **本 社 工 場**
☎660-0832 尼崎市久々知3丁目23番33号
☎(06) 6499-1231番(代)
 - **東初島営業所**
☎660-0832 尼崎市東初島町2番45
☎(06) 6489-0101番(代)
 - **枚方営業所**
☎573-0003 枚方市出屋敷西町1丁目21番1号
☎(072) 847-3592番
- <http://www.matsumoto-co.jp/>